

事項	観賞用水稲品種「青系観175号」の特性		
ねらい	<p>観賞用・景観用の稲は、本県では、短程で葉色が紫色の「紫稲」、黄色の「黄色稲」、緑色の「観稲」が知られており、近年では、田んぼアート等に使われ、注目を浴びている。</p> <p>「青系観175号」は、稲の葉色及び穂が白いという特徴があり、これまでの3色に白色が加わることにより、田んぼアートの図柄の色彩が拡大することが期待できるため、観賞用・景観用等として、参考に供する。</p>		
指導参考内容	<p>1 主要特性の概要（「つがるロマン」対比）</p> <p>(1) 形態的特性</p> <p>ア 移植時の苗丈はやや短く、葉色は緑色で、稀に白い縞が入る。</p> <p>イ 生育の初期は草丈はやや短く、茎数はやや少なく、葉色は葉身、葉鞘とも淡黄緑～白色に緑色の縦縞を有する。</p> <p>ウ 生育中期～出穂期にかけて、白色部分の割合が多くなるため、株全体としては白く見える。</p> <p>エ 出穂期以降、葉身の老化が早く、登熟後期には全体が褐色を帯びた色になる。</p> <p>オ 稈長は極短く、穂長はやや長いが粒着粒数は少なく、穂数はやや少ない極短程中間型の粳種である。</p> <p>カ 出穂直後の芒及び穎色は、白～黄白色である。</p> <p>キ 稈は軟らかく、耐倒伏性は「やや弱」である。</p> <p>ク 粳千粒重及び玄米千粒重は軽い。</p> <p>(2) 生態的特性</p> <p>ア 出穂期は5日程度遅く、成熟期は3日程度遅い「晩生」に属する。</p> <p>イ 障害型耐冷性は「やや弱」以下である。</p> <p>ウ 未知のいもち病真性抵抗性遺伝子を持つと推定され、葉いもち、穂いもちともに発病しない。</p> <p>エ 穂発芽性は「やや難」である。</p> <p>オ 玄米収量は40%程度で少ない。</p> <p>2 観賞用・景観用としての特性</p> <p>ア 葉色が白いことから、観賞用・景観用に向き、田んぼアート等の白い色（稲）として利用することができる。</p> <p>イ 葉の白さの見頃は7月の最高分げつ期頃である。</p> <p>3 栽培上の留意事項</p> <p>(1) 播種量は、千粒重が軽いため、中苗の場合乾粳で85g/箱程度とする。</p> <p>(2) 生育の初期は低温に弱いので、冷水のかかる圃場では作付けを避ける。</p>		
期待される効果	田んぼアート等の図柄の配色が拡大され需要が期待される。		
利用上の注意事項	本田では葉身の葉緑素が少なく、生育が劣るため、葉身が緑色で葉緑素が多い苗の段階で健苗の育成に努める。		
担当部署 (担当者名)	農林総合研究所 良食味米開発部（諏訪充、川村陽一、 小林渡、前田一春、神田伸一郎）	対象地域	県下全域
発表文献等	<p>平成21年度 水稻新配付系統成績書</p> <p>平成21年度 試験成績概要集（農林総合研究所）</p>		

【根拠となった主要な試験結果】

表1 「青系観175号」の特性一覧表

(平成18年～21年 青森農林総研)

組合せ	(合系8号/ゆめあかり) F ₂ /ゆめあかり		
調査地	良食味米開発部 (黒石市)		
調査年次	平成18年～平成21年		
品種名 形質	青系観175号	つがるロマン (基準)	まっしぐら (比較)
早晚性 草型	晩生 極短稈 中間型	中生中 中短稈 偏穂重型	中生早 短稈 偏穂重型
出穂期(月・日)	8. 13	8. 8	8. 7
成熟期(月・日)	9. 24	9. 21	9. 21
稈長(cm)	43.9	77.2	71.2
穂長(cm)	19.4	17.6	17.8
穂数(本/m ²)	287	367	377
葉色	淡黄緑～白色に緑色の縦縞	緑	緑
芒の多少	少	中	極少
長短	短	短	極短
粒着密度	やや疎	やや密	やや密
顔色	黄白	黄白	黄白
ふ先色	白	白	白
脱粒性	難	難	難
耐倒伏性	やや弱	中	強
穂発芽性	やや難	やや難	難
障害型耐冷性	やや弱以下	やや強	やや強
いもち病抵抗性			
推定遺伝子型	不明	<i>Pia, Pii</i>	<i>Pia, Pii</i>
葉いもち	不明	やや強	強
穂いもち	不明	中(やや強)	やや強(強)
玄米収量(kg/a)	22.5	57.6	59.6
対標準比(%)	39	(100)	103
千粒重 粳(g)	22.7	26.7	27.1
玄米(g)	18.9	22.1	22.5
玄米品質	6.1	3.9	4.4

(注) 1 いずれも標肥区(N成分、0.6+0.2kg/a)の結果である。
 2 穂いもちの表記は平成14年3月制定の東北新基準に従った。なお、()は昭和54年3月制定の旧基準による表記である。玄米品質は1(上上)～9(下下)による。



写真1 青系観175号の草姿



写真2 平成21年度の田舎館村たんぼアートより